



2023年4月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年12月13日

上場会社名 日東製網株式会社

上場取引所 東名

コード番号 3524 URL <http://www.nittoseimo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 宏明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部本部長 (氏名) 北方 浩樹

TEL 084-953-1234

四半期報告書提出予定日 2022年12月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年4月期第2四半期の連結業績(2022年5月1日～2022年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期第2四半期	8,500	10.1	10		190	925.1	121	
2022年4月期第2四半期	7,722	7.8	12		18	95.6	42	

(注) 包括利益 2023年4月期第2四半期 174百万円 (%) 2022年4月期第2四半期 68百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年4月期第2四半期	46.88	
2022年4月期第2四半期	16.37	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年4月期第2四半期	27,941	6,392	22.3	2,403.90
2022年4月期	27,573	6,347	22.5	2,386.96

(参考) 自己資本 2023年4月期第2四半期 6,234百万円 2022年4月期 6,190百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年4月期		0.00		50.00	50.00
2023年4月期		0.00			
2023年4月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年4月期の連結業績予想(2022年5月1日～2023年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	3.4	650	75.7	550	1.1	150	21.3	57.84

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年4月期2Q	2,605,000 株	2022年4月期	2,605,000 株
期末自己株式数	2023年4月期2Q	11,597 株	2022年4月期	11,597 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年4月期2Q	2,593,403 株	2022年4月期2Q	2,593,419 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限等が緩和され、経済活動の正常化が進むなど、明るい兆しも出てまいりました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や急激な円安による資源価格及び原材料価格の高騰、行動制限解除後の新型コロナウイルス感染症再拡大の懸念等もあり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ主力ユーザーの水産業界におきましては、海洋環境や気象状況の変動による漁獲量の減少や、燃油価格の高騰、資材や物流コストの上昇等により事業収益は圧迫されております。また、直近では一部の魚種では漁獲高・魚価に回復の兆しが見られるものの、景気の先行き懸念から消費者の低価格志向が継続し、外食産業向けの高級魚や水産物の需要が減少していること等から全般的に魚価は低迷が続いており、漁業従事者の経営環境は引き続き厳しい状況となっております。

このような状況のもと、当社グループの漁業関連事業では、定置網部門の漁業者の投資意欲が盛り上がりや欠くなどの影響がありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による渡航制限が緩和され、海外の商談が進展し、前年同期と比べ売上高は増加しました。陸上関連事業では、獣害防止ネットや防鳥ネット等の陸上ネットの受注が引き続き好調で前年同期と比べ売上高が増加しており、当社グループ全体としても売上高は前年同期と比べ増加しました。営業利益は、受注量の増減に応じて、柔軟な生産体制をとり、製造原価圧縮等の経費削減に努めましたが、原材料や物流コストの上昇及び新事業所関連の減価償却費の増加により営業損失となりました。また、営業外損益では、為替差益や持分法による投資利益が発生しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,500百万円（前年同期比10.1%増）、営業損失は10百万円（前年同期は12百万円の営業損失）、経常利益は190百万円（前年同期比925.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は121百万円（前年同期は42百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

[漁業関連事業]

売上高は6,928百万円（前年同期比12.1%増）となりました。主な要因は、新型コロナウイルス感染症拡大による渡航制限が緩和され、旋網部門や養殖網部門の海外での商談が進展したことによるものです。利益面は、受注の増減幅が大きく生産量の平準化が図れなかったことや原材料費等のコスト上昇などにより、セグメント損失は29百万円（前年同期は33百万円のセグメント損失）となりました。

[陸上関連事業]

売上高は1,568百万円（前年同期比4.9%増）となりました。主な要因は、獣害防止ネットや防鳥ネット等の受注が引き続き好調であることによるものです。利益面は、資源価格の上昇による資材の値上げなどにより、セグメント利益は19百万円（前年同期比3.8%減）となりました。

[その他]

前期に引き続き機械の部品加工等の受注は低調に推移し、売上高は3百万円（前年同期比92.8%減）となりました。利益面は、材料費等の増加が影響し、セグメント損失は1百万円（前年同期は1百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ367百万円増加し、27,941百万円となりました。その主な内容は、以下のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ408百万円増加し、15,450百万円となりました。これは主に商品及び製品や原材料及び貯蔵品等の棚卸資産が増加したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ40百万円減少し、12,490百万円となりました。これは主に建物及び構築物が減価償却により減少したこと等によるものです。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ401百万円増加し、13,461百万円となりました。これは主に短期借入金が増加したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ78百万円減少し、8,087百万円となりました。これは主に長期借入金が増加したこと等によるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べ44百万円増加し、6,392百万円となりました。これは配当金の支払いにより利益剰余金は減少しましたが、為替変動に伴い為替換算調整勘定が増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2022年6月10日に公表いたしました2023年4月期の連結業績予想に変更はありません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合は、適時に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,173,629	1,237,898
受取手形及び売掛金	6,319,733	6,345,547
商品及び製品	4,894,231	5,444,191
仕掛品	620,732	706,798
原材料及び貯蔵品	1,147,631	1,434,052
その他	927,419	322,817
貸倒引当金	△41,352	△41,019
流動資産合計	15,042,025	15,450,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,069,315	6,956,379
土地	2,410,136	2,460,931
建設仮勘定	359,788	309,169
その他（純額）	1,326,509	1,354,089
有形固定資産合計	11,165,750	11,080,570
無形固定資産		
のれん	123,235	113,694
その他	51,652	83,779
無形固定資産合計	174,888	197,474
投資その他の資産		
長期営業債権	969,777	1,056,911
繰延税金資産	235,471	231,353
その他	829,115	832,998
貸倒引当金	△843,690	△908,368
投資その他の資産合計	1,190,673	1,212,895
固定資産合計	12,531,312	12,490,940
繰延資産	123	84
資産合計	27,573,461	27,941,309

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,532,287	1,960,097
電子記録債務	1,276,877	1,520,714
短期借入金	7,540,872	8,696,050
未払法人税等	156,818	62,507
賞与引当金	254,067	267,123
その他	1,299,042	955,102
流動負債合計	13,059,966	13,461,596
固定負債		
長期借入金	7,187,553	7,103,937
長期末払金	22,635	17,959
役員退職慰労引当金	279,487	303,187
退職給付に係る負債	474,957	474,196
繰延税金負債	108,934	104,602
その他	92,320	83,250
固定負債合計	8,165,889	8,087,135
負債合計	21,225,855	21,548,731
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,378,825	1,378,825
資本剰余金	510,540	510,540
利益剰余金	4,592,378	4,584,293
自己株式	△18,094	△18,094
株主資本合計	6,463,650	6,455,565
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,446	49,663
為替換算調整勘定	△324,743	△270,959
その他の包括利益累計額合計	△273,297	△221,296
非支配株主持分	157,253	158,309
純資産合計	6,347,606	6,392,577
負債純資産合計	27,573,461	27,941,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年5月1日 至2021年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年5月1日 至2022年10月31日)
売上高	7,722,874	8,500,640
売上原価	6,212,691	6,787,012
売上総利益	1,510,183	1,713,628
販売費及び一般管理費	1,522,721	1,724,438
営業損失(△)	△12,538	△10,810
営業外収益		
受取利息	8,302	9,896
受取配当金	4,938	5,391
固定資産賃貸料	18,924	22,841
保証債務費用戻入額	6,573	63,806
持分法による投資利益	-	33,687
為替差益	45,083	149,887
受取保険金	24,081	21,782
その他	37,793	45,832
営業外収益合計	145,696	353,127
営業外費用		
支払利息	31,568	41,217
手形売却損	5,134	4,106
減価償却費	-	92,460
持分法による投資損失	52,394	-
その他	25,462	13,874
営業外費用合計	114,559	151,658
経常利益	18,598	190,658
特別損失		
解体撤去費用	-	18,137
特別損失合計	-	18,137
税金等調整前四半期純利益	18,598	172,520
法人税、住民税及び事業税	43,322	49,971
法人税等調整額	16,433	△94
法人税等合計	59,755	49,877
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△41,156	122,643
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,310	1,058
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△42,466	121,585

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年5月1日 至2021年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年5月1日 至2022年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△41,156	122,643
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,645	△1,784
為替換算調整勘定	△1,030	75,445
持分法適用会社に対する持分相当額	△18,803	△21,661
その他の包括利益合計	△27,479	51,998
四半期包括利益	△68,636	174,641
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△69,949	173,585
非支配株主に係る四半期包括利益	1,312	1,055

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	漁業関連事業	陸上関連事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	6,183,484	1,495,922	7,679,407	43,467	7,722,874
外部顧客への売上高	6,183,484	1,495,922	7,679,407	43,467	7,722,874
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,183,484	1,495,922	7,679,407	43,467	7,722,874
セグメント利益又は損失(△)	△33,714	20,121	△13,593	1,054	△12,538

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械の製造・メンテナンス等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	漁業関連事業	陸上関連事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	6,928,793	1,568,715	8,497,508	3,131	8,500,640
外部顧客への売上高	6,928,793	1,568,715	8,497,508	3,131	8,500,640
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,928,793	1,568,715	8,497,508	3,131	8,500,640
セグメント利益又は損失(△)	△29,156	19,356	△9,800	△1,009	△10,810

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械の製造・メンテナンス等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。